

全国初、「イクメン企業同盟」を結成した「イクメン知事」が宣言！
都道府県知事初！広島県知事が「イクボス宣言」
～仕事も家庭も両立できる職場環境は、ボス(上司)次第！～

都道府県知事として初めて育児休暇を取得し話題になった広島県の湯崎知事は、平成27年1月14日(水)広島県庁にて、NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也氏立会いのもと、都道府県知事として初めて「イクボス宣言」を行いました。

“イクメン知事”として知られる湯崎知事は、昨年3月に、県内の企業経営者に呼びかけ、全国初となるイクメンを応援する企業経営者の同盟「イクメン企業同盟」を結成するなど、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに取り組んできました。今回の「イクボス宣言」は、イクメン企業同盟の一員として「組織のトップとして職場環境を変える」こと、そして「県内にイクボスを増やすための取り組みを更に進めること」を改めて宣言したものです。

今後も、広島県は男性の育児・家事参画を促進し、女性が働きやすい社会になるように様々な施策に取り組んでまいります。

【イクボス】とは・・・部下のワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむ上司のこと



■NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也氏による講演会の内容

《第1部》「イクメン」講演会 職員210名参加

テーマ：イクメンでいこう！～父親が変われば社会が変わる

《第2部》「イクボス」講演会 管理職230名参加

テーマ：イクボスでいこう！～人材多様化時代に求められる理想の上司像とは？



NPO法人ファザーリング・ジャパン ホームページ <http://fathering.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

働く女性応援プロジェクト・チーム 担当：津島、池田 (電話)082-513-3419

広島県庁内で取り組んでいる男性の育児参画を促進する施策の紹介

■子どもが生まれた男性職員の育児関係休暇の取得促進(目標:100%、現状:配偶者出産休暇99.3%、男性の育児参加休暇:98.7%)、知事からの応援メッセージ送付

■毎月19日の「出会い・育児の日(イクちゃんの日)」に、仕事と育児の両立に関するメールマガジンの発行、イクメン応援ソングの庁内放送実施

広島県内の企業を対象とした男性の育児参画を促進する施策の紹介

■全国初!「育メン休暇応援制度」(平成22年4月～)

男性労働者の育児休業取得に積極的に取り組む企業等を県が登録する制度。

(正式名「広島県男性育児休業等促進宣言企業登録制度」)

男性の育児休業に特化した登録制度は都道府県で初の取り組みで、登録企業等には登録証を交付するとともに、県ホームページ等で広く広報し、育児休業の取得を後押ししています。

平成26年12月末時点で登録企業数が301社に到達しました。

■「いきいきパパの育休奨励金」(平成22年4月～)

男性の育児休業取得者のいる中小企業に対して一人当たり最大30万円の奨励金を支給。

男性が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を支援するため、1週間以上の育児休業取得者のいる中小企業に対し、奨励金を支給しています。

平成26年12月末時点で支給件数が216件になりました。

■全国初!イクメンを応援する企業経営者の同盟「イクメン企業同盟」を結成(平成26年3月～)

企業ぐるみでイクメンを増やす取り組みを加速させるため、平成26年3月に知事が県内の企業経営者に広く呼びかけ、結成しました。メンバーは「組織のトップとして職場環境を変える」、「他の経営者の意識を変える」、さらには「社会を変える」という高い志を持ち、企業内で男性従業員の育児・家事参画を進める環境づくりを推進するとともに、自らが広告塔となり、県民にイクメンへの理解促進のためのイベント等に参加しています。

平成26年12月末時点でメンバーが35人になりました。



女性の「子育ても仕事も頑張りたい!」を支援する取り組みも行っています

■ママの就職支援のための相談コーナーを設置(平成24年3月～)

平成24年3月に全国に先駆けて、国(厚生労働省)のマザーズハローワーク広島と、県の相談コーナー「わーくわくママサポートコーナー」の一体運営施設を開設しています。

県の相談コーナーでは、チャイルドコーナーや授乳室を設置し、就職準備に関する相談対応や保育所情報の提供などを実施しています。

これまでの利用者は1,999人(平成26年12月末時点)、就職者は330人(平成26年8月末時点)に到達しました。